

今シーズン（2023/24）の季節性インフルエンザワクチンについて

- ▶ 定期接種対象者の方がインフルエンザワクチンの接種を希望する場合、その機会を逸することがないように、例年、ワクチンの効率的な使用等について医療現場へ働きかけを行っており、そうした前提の下、通常年の使用量は3,000万本以下となっている。
- ▶ 令和5年度のワクチンの供給量は、3,121万本（成人量では6,242万回分に相当）となり、通常年の使用量を超える供給量となる見込み（例年ワクチンの接種率は、小児で50～60％程度、高齢者で40～70％程度）。
- ▶ 令和5年9月末時点で年度内の供給量の半数を上回る約1,660万本（成人では約3,320万回分）が出荷される予定。これは、昨年度と同様、65歳以上の高齢者（約3,590万人）の約9割が1回ずつ接種できる量に相当する。
- ▶ 今冬に向けたワクチン供給状況を踏まえて、インフルエンザワクチンの接種の呼びかけ及びワクチンの安定供給に係る対策を実施してはどうか。

接種の呼びかけについて

- ▶ 予防接種法に基づく定期接種対象者（65歳以上の方等）で、希望する場合に接種の機会を逸することのないよう、接種について呼びかけを行うこととする。
（参考）インフルエンザワクチンは予防接種法上、行政から対象者に接種勧奨を行う対象ではなく、呼びかけは接種を希望される方が対象。

インフルエンザワクチンの供給に係る対応

- ▶ ワクチンの効率的な使用等に係る取り組みとして、昨年度と同様に、ワクチンの効率的な使用等について医療現場へ働きかけを行うこととしてはどうか。

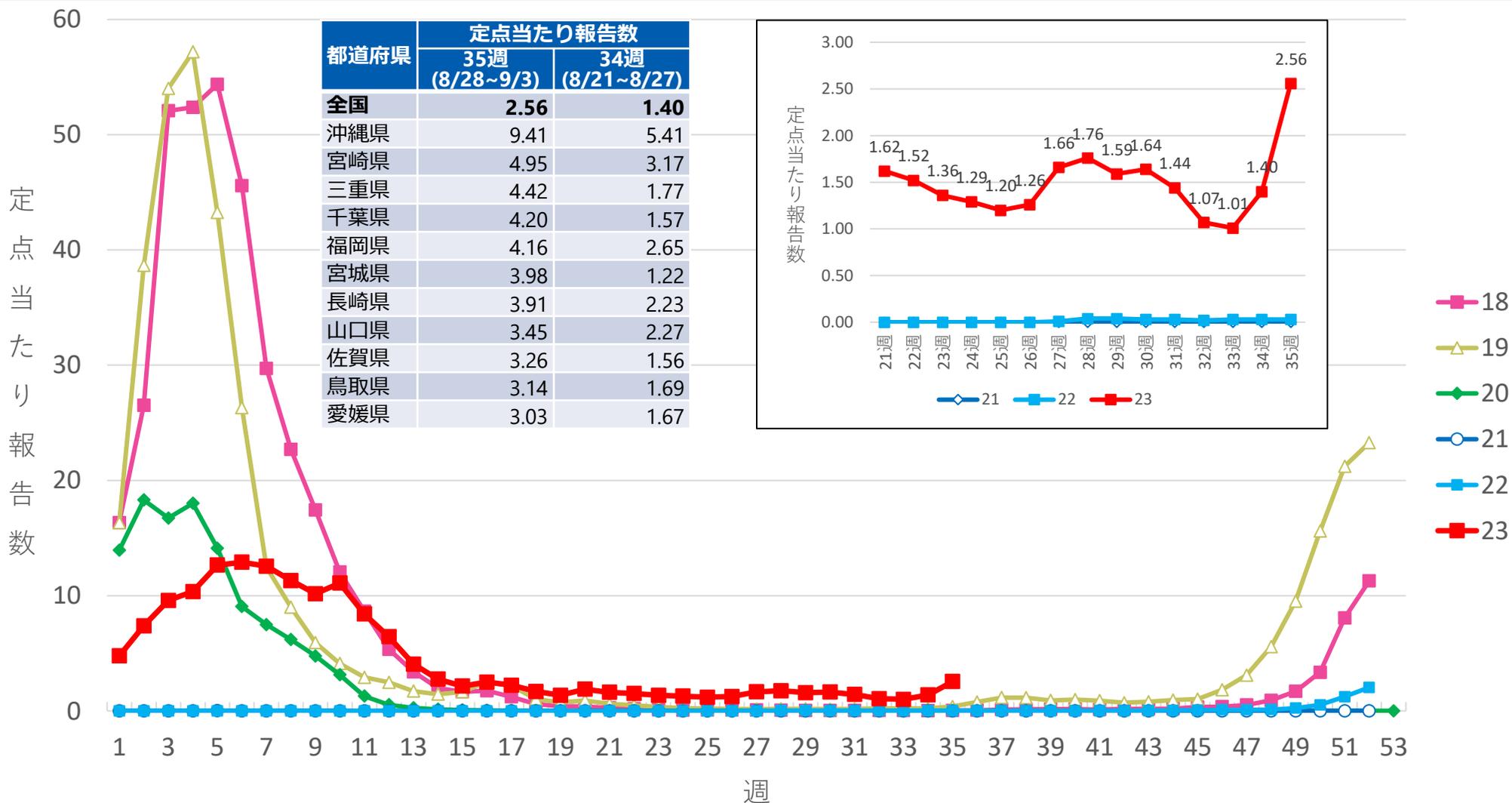
（昨年度の取組）

- インフルエンザワクチンの効率的な使用と安定供給を推進するため、2021/22シーズンまでと同様に、
 - ・ 13歳以上の方は原則1回注射としていただくこと
 - ・ 必要量に見合う量のワクチンを購入いただくことなどについて、医療機関に要請する等の取り組みを継続することとした。

※ 第33回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会（8月28日）において議論済み

季節性インフルエンザの定点当たり報告数

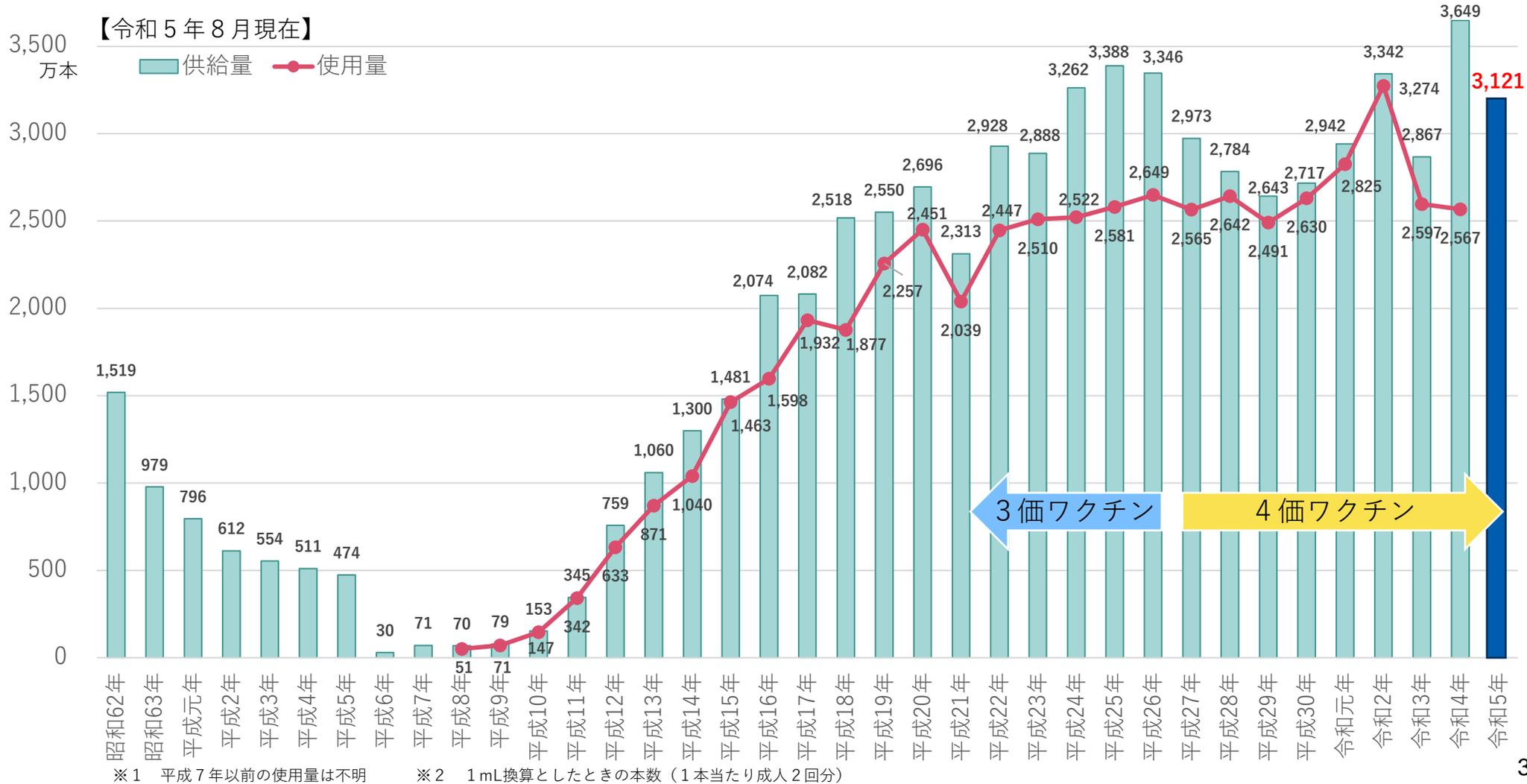
感染症発生動向調査 2023年第35週（8月28日～9月3日）までの季節性インフルエンザの定点当たり報告数の推移



インフルエンザワクチンの供給量の年次推移

2023（令和5）年8月28日

令和5年度のワクチンの供給量は、3,121万本となる見込み。

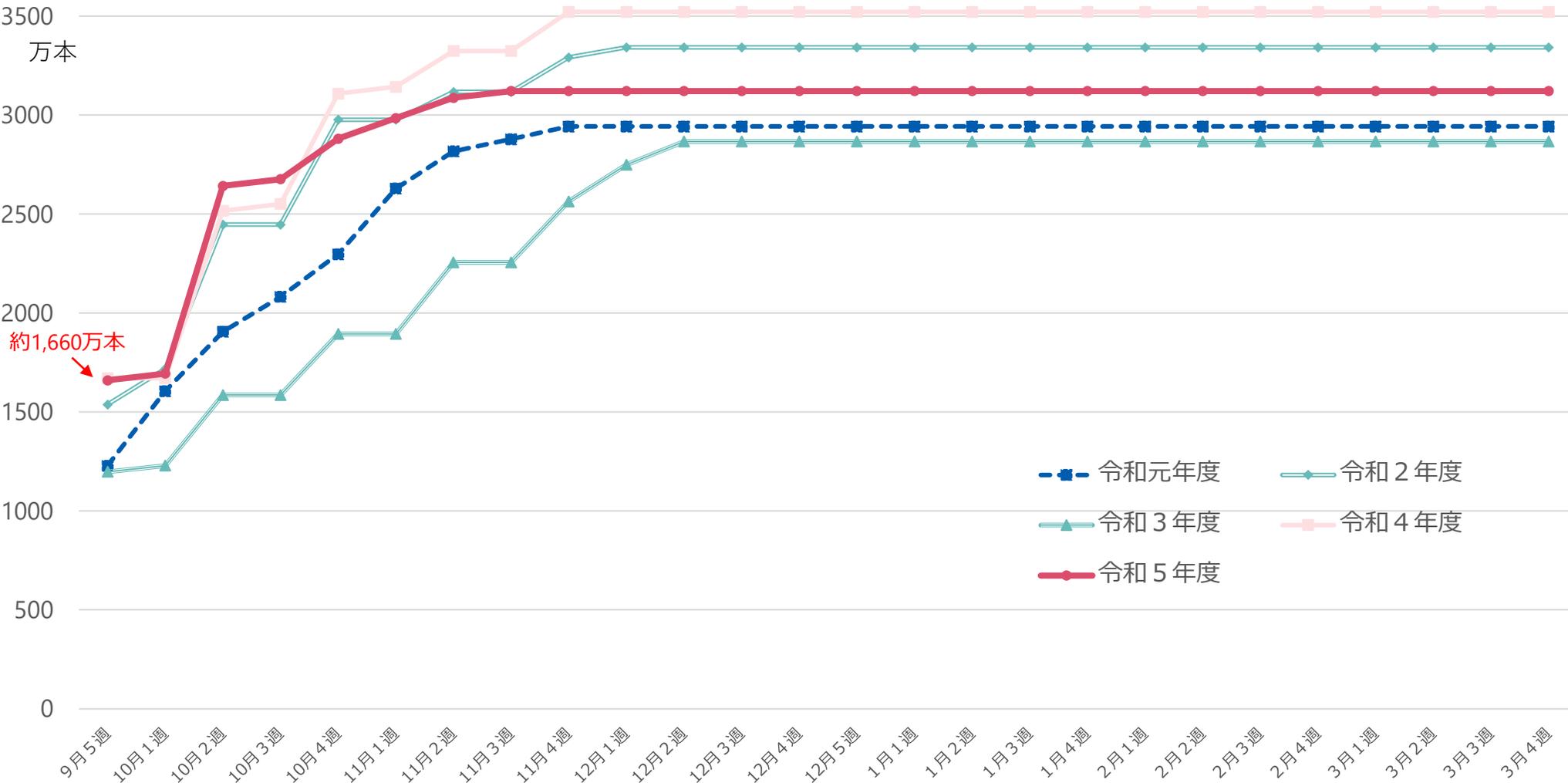


インフルエンザワクチンの累積供給量（週次）

2023（令和5）年8月28日

令和5年度は9月末の時点で、年度内の供給量の半数を上回る約1,660万本が出荷される予定。

【令和5年8月現在】



注1) 供給量は、いずれも1mL換算

注2) 週の表示は金曜日を基準としている（例えば、9月5週は9/29時点の供給量を示している）